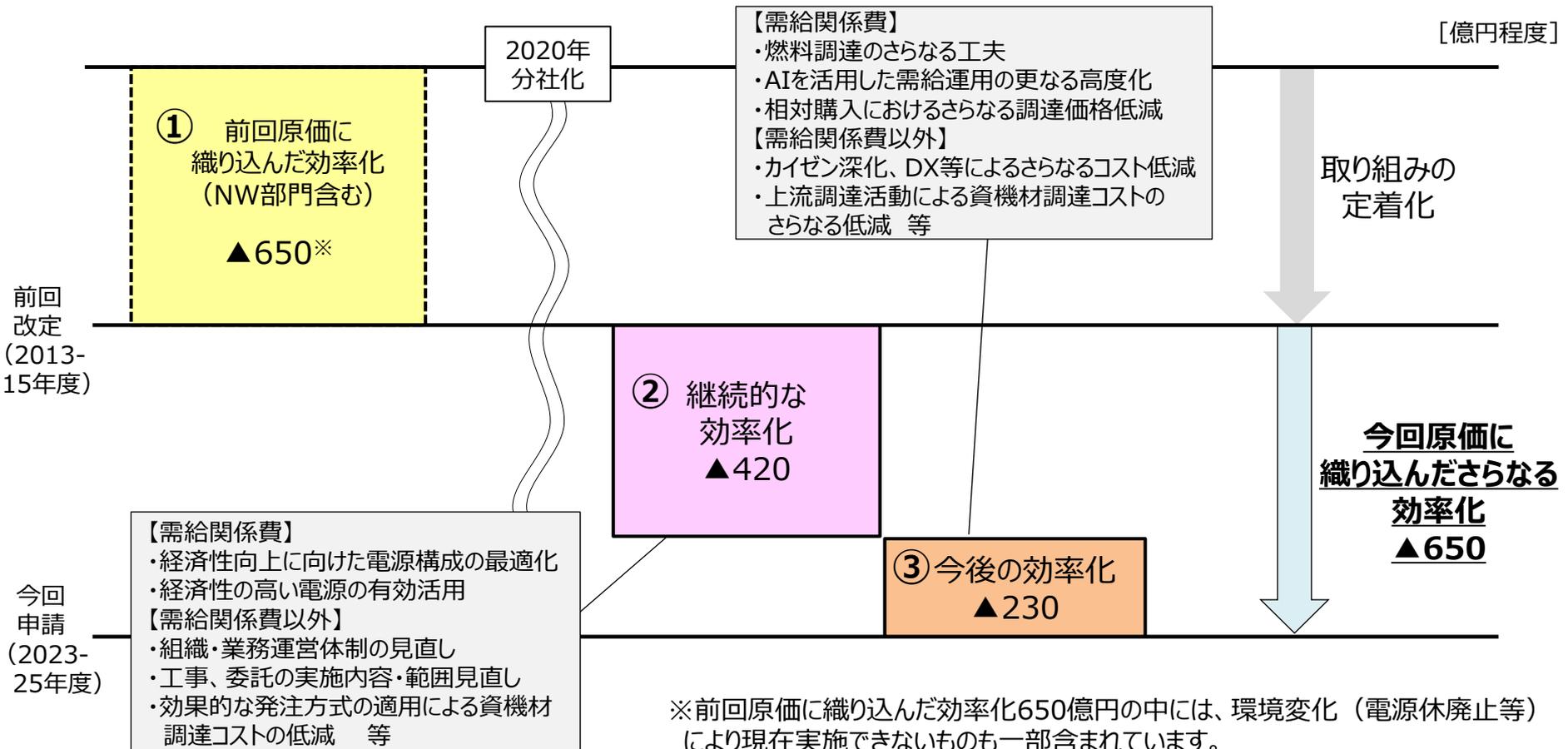


# 経営効率化の取り組みについて (概要版)

2023年2月15日  
北海道電力株式会社

# 経営効率化の取り組み（概要）

- 2014年度の電気料金見直し時にお示した経営効率化計画（①）を着実に達成するとともに、2016年度に発足した経営基盤強化推進委員会のもとで、カイゼン活動や資機材調達コスト低減の取り組みを通じ、これまでのルールや発想にとらわれない抜本的なコスト低減の取り組みを推進してきました。
- 今回の申請にあたっては、経営基盤強化推進委員会発足以降、継続的に進めてきた取り組みの成果（②）を最大限原価へ反映させるとともに、今後のさらなる経営効率化の深掘り（③）も検討し、合計で年平均650億円程度の効率化を織り込んでいます。



# 経営効率化の取り組み（内訳）

（単位：億円／年）

費目	継続的な経営効率化の取り組み		今後の経営効率化の取り組み	
	主な取り組み内容	金額	主な取り組み内容	金額
人件費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織・業務運営体制の見直し</li> <li>・カイゼンによる業務効率化</li> <li>・独身寮等の廃止</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織・業務運営体制のさらなる見直し</li> <li>・カイゼン深化、DX等によるさらなる業務効率化</li> </ul>	6
需給関係費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済性向上に向けた電源構成の最適化</li> <li>・経済性の高い電源の有効活用</li> <li>・燃料調達の工夫（契約多様化等）</li> <li>・電力需給運用の最適化</li> </ul>	268	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料調達のさらなる工夫（低品位炭調達拡大、LNG長期契約拡大等）</li> <li>・AIを活用した需給運用のさらなる高度化</li> <li>・相対購入におけるさらなる調達価格低減</li> </ul>	147
設備投資関連費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検の周期延伸</li> <li>・新技術、新工法の開発・導入</li> </ul>	2 (12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カイゼン深化、DX等によるさらなるコスト低減</li> <li>・上流調達活動等によるさらなる資機材調達コストの低減</li> </ul>	2 (14)
修繕費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事実施内容、範囲の見直し</li> <li>・委託実施内容、範囲の見直し</li> </ul>	73		36
諸経費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価格交渉力の強化や効果的な発注方式適用等による資機材調達コスト低減</li> </ul>	71		39
合計		417		230

※設備投資関連費用の効率化額は、上段に減価償却費および事業報酬に反映されている金額、下段（ ）内に設備投資への反映額を示しています。

※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

※2014年度の電気料金見直し時にお示した効率化計画（650億円程度/年）において見込んでいた内容は既に定着しており、上記の効率化額は当時の効率化計画からの深掘り分となります。

- 前回改定時に織り込んだ資機材調達の効率化▲10% (①震災後の効率化▲3% + ②調達の工夫▲7%) については、継続的に取り組んでいます。
- また、前回改定以降、工事費市況単価 (公共工事設計単価等) は継続的に上昇を続けている状況ですが、価格交渉力の強化や効果的な発注方式の適用による資機材調達コスト低減に努めることで、今回原価策定に用いる単価は、市況単価よりも低位 (③▲6.5%) に設定しております。
- 加えて、今後の取り組みとして、上流調達活動等によるさらなる資機材調達コスト低減の深掘り (④▲3%) を織り込んでいます。

## 【資機材調達コスト低減の取り組み (概要)】

